

(科目コード : 2000620003KK)

【改訂】第19版(2015-03-12)

【科目】政治・経済

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】物質 3年

【担当教員】前期：石関 正典

後期：石関 正典

【授業目標】

- ・ 広い視野からの観察を通して、社会の仕組みを理解し、現実に行っている様々な問題を多面的に考察する力を身につける。
- ・ 人生を主体的に生きていくための判断基準を構築し、自分の意見を表明するための基礎的な知識や分析手法を習得する。
- ・ 選挙における投票や企業等における経済活動、裁判員としての裁判への参加など、今後国民として経験する重要な事柄・場面において、自ら考え、判断し、行動するために必要な知識や能力を身につける。
- ・ 新聞記事等を活用し、適宜、時事問題に触れることで、現代社会の抱える諸問題についての知識・理解を深める。

【教育方針・授業概要】

- ・ 授業は講義形式で進める。前期は現代の政治を、後期は現代の経済を学習する。
- ・ 政治分野では、民主政治の基本原則、日本国憲法(国民権、基本的人権、平和主義)、日本の政治機構(国会の仕組みと機能、内閣・行政の仕組みと機能、裁判所の仕組みと機能)、政党と政治について取り上げる。
- ・ 経済分野では、経済社会の変容、現代経済の仕組み(現代の企業、市場経済、経済成長)、経済活動と福祉の向上、国際経済について取り上げる。

【教科書・教材・参考書 等】

資料集：『最新図説 政経』：浜島書店

その他、適宜にワークシート、新聞記事等の補助教材も作成・使用する。

【成績評価方法】

[前期]中間試験：20%、期末試験：20%、レポート：10%

[後期]中間試験：20%、期末試験：20%、レポート：10%

【本校の学習・教育目標】

(A-1) 人文社会系の科目の学習を通じて、人間文化と社会生活について理解する。

【授業計画】(政治・経済)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
1回	ガイダンス	授業の概要、政治社会の特質		
2～4回	民主政治の基本原則	民主政治の意味、民主政治の基本原則とその発展		
5～7回	日本国憲法と平和主義	日本国憲法の成立、わが国の平和主義、自衛隊をめぐる諸問題		
8回	前期中間試験			
9～11回	日本国憲法と基本的人権	基本的人権の性格、個人の尊重と法の下での平等、自由権の基本権、社会権の基本権、請求権、新しい人権の展開		
12～15回	日本の政治機構	国会の仕組みと機能、内閣・行政の仕組みと機能、裁判所の仕組みと機能		
16～18回	経済社会の変容	経済社会の成り立ちと発達、資本主義経済の発達と変容、社会主義経済の形成と変容		
19～22回	現代経済の仕組み(1)	市場経済、現代の企業、国民所得と経済成長		
23回	後期中間試験			
24～26回	現代経済の仕組み(2)	貨幣と金融、銀行のはたらき、財政と財政政策、租税の種類		
27～28回	日本の経済成長と課題	日本の経済成長、労働問題、社会保障		
29～30回	国際経済	国際経済と貿易、地域統合の動きと役割		